

## 車座トーク（神辺） 概要

開催日時：2025年（令和7年）1月24日（金） 19時00分～20時45分

開催場所：かんなべ市民交流センター

参加者数：13人

次 第：開会・参加者紹介

意見交換

まとめの挨拶

写真撮影・閉会

### 【意見交換の概要】

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・神辺の歴史を皆さんにもっと興味を持ち、知っていただきたく、廉塾まつりや史跡めぐりなどの活動を行っている。</li> <li>・史跡めぐりルート内の御領古墳群は歴史的な評価がされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神辺の歴史や文化には夢を感じる。御領古墳群や堂々川の砂留の価値の発掘や再認識に向けて一緒に取り組んでいきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年、市の推薦をいただき神辺遺産プロジェクトを日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録申請したが、登録にはいたらなかった。再申請の際にはご協力をよろしくお願いします。</li> <li>・廉塾の世界遺産登録に向けた取組も行われている。</li> <li>・横断的なまちづくり活動ができる仕組みが重要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「神辺遺産」のユネスコ未来遺産登録や廉塾の世界遺産登録など、一緒に取り組んでいきたい。</li> <li>・福山市が行っている横断的な支援策や歴史文化活動への支援策があるので、改めて担当者からご説明する。ご活用いただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・神辺駅東口で古民家を再生利用し「神な備旧松本家住宅」という地域交流拠点の整備に取り組んでいる。地域や学生、商工会の皆さんなどに活用していただけるまちづくりの核にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに限らず、交流拠点・居場所づくりは重要だと言われている。コミュニティの維持や再生には人が集まることからスタートする必要がある。「神な備」をその核にしてもらいたい。完成を心待ちにしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・神辺駅周辺だけではなく、思い出のある場所で、子どもたちが自然を感じながら走り回れるような原風景を取り戻したいと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会の中でキーワードは「循環」「資源」「環境」。これらを施策とし、持続可能な地域になるようめざしたいと思っている。</li> <li>・駅周辺から取組を広げるアプローチの仕方もある。どういったアプローチをとるのかなど、神辺の皆さん方が主体となって決めていただき、議論を深める中でイメージを1つにまとめたい。</li> </ul>

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>古民家カフェを開いて1年。お客様は神辺に興味を持ってきているが「まちの歩き方」を説明できず、もったいないと感じている。神辺について、外部の人たちにどう発信してもらうかが鍵になると思う。外部から来た人たちが、神辺を「面白そう」「可能性がある」と感じてくれるような仕組みや情報発信が必要と考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良いものをつくっても、大勢の方に知っていただかなければ意味がない。神辺へ来てもらう仕掛けづくりが重要。情報発信と仕掛けづくりについて共に検討していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>産前産後サポート団体で活動中。お母さん同士の交流の場になっており、また前職での経験を生かした離乳食づくりの支援などを通じて、子育てが楽しくなるまちにしたいと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ての負担をできるだけ軽減するため、2017年に福山ネウボラをスタートした。さらに、今夏にはネウボラセンターという形で更なる強化を行う。これまでの就学前とその家族に加え、教育委員会とも連携し就学後にも対応。さらに、親同士の交流の場を確保し、屋内にこどもの遊び場を整備する。</li> <li>交流館にキッズスペースを整備し、児童館のような機能ができるよう進めていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>神辺地域は人口が増えている。新しく流入している子育て世帯が住み続けられる環境にすることが重要と考えている。</li> <li>廃校を活用し、北東部にイエナプラン校があるといいと思う。</li> <li>自然環境は都心部にはない競争力。公有林を「市民の森」として開放し、公民連携で管理し森で遊ぶムーブメントを起こしたい。</li> <li>川南土地区画整理事業地区内に新たに公園が整備される。公園の設置をプロモーションし、地域住民が楽しめる公園を作りたい。</li> <li>芦田川沿いに自転車専用の高速道路を整備することで渋滞緩和や健康増進による社会保障費の削減、観光資源にもつながる。コペンハーゲンでは企業を巻き込んで実施中。</li> <li>コミュニティスクールの導入は学校運営に地域社会がコミットできるチャンス。地域づくりのきっかけとなれば。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コペンハーゲンには自転車社会の視察に行き、自転車でまちを移動できる空間はいいなと思ったが、福山市のように自動車社会が進んでいる地域では大掛かりなことは難しい。しかし、自転車、徒歩、公共交通機関などそれぞれのモビリティが持続可能なまちづくりを考えていきたい。</li> <li>福山市では全学校でのコミュニティスクールを導入する。教育現場でも地域の皆さんのご参加をお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>会社のビジョンとして循環型地域をつくることをめざし、地域の方と農園の運営や農業体験会等を行っている。</li> <li>里山を整備することで災害に強い地域にし、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考え、実践していただいております。神辺で生まれた人がふるさとに戻ってくる、循環型の自然を大切にした地域社会への取組みは、共に議論していきたい。</li> </ul>

参加者からの主な意見	市長コメント
<p>また観光客が往来するような地域をめざしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神辺駅周辺の再構築にあたっては、歴史文化や商業エリア機能に加え、田畑や里山など自然を大切にする暮らしを検討することで、自然を体験できるエリアの価値が提供できるのではないかと考える。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトシティを受け入れていかなければならない中、土地区画整理事業が行われている神辺町は店舗が来るなど注目されているエリア。福山市のエリア価値創造フォーラムにおいて、大型チェーン店は人口減少に伴い撤退し、街並み形成がされないまま元気がないまちに戻ってしまうことを学んだ。当事者として、空き家対策に取り組んでいきたい。戸建て住宅ではなくDIYできる賃貸物件など、愛着を持ち、長く住んでいただける取組をしたい。</li> <li>・川南1号幹線は重要なストリートになる。今後もイベント等をする際、行政にもご協力いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方最大の課題の一つである空き家対策について、共に取り組んでいきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、さまざまなフォーラム、ゼミに参加し、普段の生活では出会わないような色々な立場の方とお会いする機会が増えた。新しい情報を入手しそれぞれの団体での活動につながっていく価値のある機会。現場での活動は団体や地域住民が担い、行政でしかできないことを役割分担として行っていただきたい。例えば、神辺駅周辺の再整備がある程度完成した後も、継続的にフォーラムの場をつくっていただく、公園のプロモーションを行っていただくなど。</li> </ul> <p>また、そういった情報を広く発信し、きっかけづくりを提供し続けていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神辺駅周辺の取組は簡単なものではなく、息を抜くことなく取り組んでいく。取組の中で、行政も含め様々な立場の方が議論する場を継続することに意味がある。続けていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川南1号幹線の整備が進むと、住宅が増え、交通量が増えるので、神辺駅まで自動車で行き、福塩線に乗って福山駅に出かけるパークアンドライドを提案したい。福塩線が1時間に1本しか通らないのは非常に残念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライドをやりやすくするような、福塩線の増便についてご意見をいただいた。</li> </ul> <p>先日、JR西日本広島支社と連携協定を結び、神辺と松永の駅を中心としたにぎわい再</p>

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前には、ショッピングセンター跡地を解体し、子どもたちが安心して遊べる、保護者が交流できる、あるいは若い世代が気軽に訪ねてくれるような市の施設が必要。</li> <li>・高齢者も増えるので、老人大学の分校など、高齢者にもスポットを当てた施策をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生についても話題にあがっている。</li> <li>・神辺駅西口のにぎわいづくりのきっかけになるよう、行政も一緒に取り組んでいく。</li> <li>・老人大学の分校については、今後そうした議論もしていきたいと思っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所でもある神辺市民交流センター体育館の空調設備の整備をお願いしたい。</li> <li>・新川の土手がかなり浸食している状態で、来年度あたりに県へ要望を提出する予定。</li> <li>・妄想だが、神辺駅が高架になると駅の東と西がつながる。</li> <li>・高齢者が買い物に行けなくなっているが、福山市のおでかけ支援制度では、運転者がいない。182号線、313号線、486号線の国道が三角形でつながっており、そこをまわローズが走れば、おでかけ支援になるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の空調については、まずはスポットクーラーでの対応を考えているが、本当に効果的な空調となるかを検証していく。空調整備の可能性も念頭に置きながら、日常利用の利便性を高め、安心して過ごせる避難所の活用につなげていきたいと思っている。</li> <li>・新川については、しっかり確認しておく。</li> <li>・神辺駅の高架化については、JRと議論する土俵は整っているので、神辺の共通の願いになるなら提案の可能性もある。</li> <li>・地域を循環する路線については、福山市で現在、バス共創プラットフォームを作り、公共交通としてのバスの役割を議論している。バス事業者が苦しい状況ではあるが、増便のほかに、新たな路線も検討しており、実証実験を始めていくなかの1つの選択肢に加えても良いかと感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会の目的として経営者としての資質を磨くとともに、地域振興のお手伝いがあるが、青年部・女性部が中心に活躍している。</li> <li>・変化の時代でも神辺町商工会は会員数が増えており、人口増と同時に商工業も発展している。</li> <li>・福山北産業団地の売れ行きが好調だったと伺っており、神辺の工業団地を増設や拡張することでより経済が活性化すると思う。</li> <li>・鞆の浦に星野リゾートが来るというニュースがあったが、廉塾の修復保全活動が終える頃には、世界遺産への登録など、福山市の南も北も観光客でにぎわうような施策もお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業団地の必要性について、今すでに新たな産業団地の候補、選出、選定するための調査に入っている。</li> <li>・南部地域の星野リゾートに対して、神辺には文化の強みがあるというお話を伺ったが、しっかりと心の中にとどめながら、市内の東西南北の拠点づくりに努めていきたい。</li> </ul>

## 【まとめの挨拶】

### ○地域代表

- ・まちづくりを行う団体はたくさんあるが、なかなか一堂に会する機会はなく、こうした場をいただけたことに感謝。
- ・神辺駅の東側は、歴史、文化、伝統ある神辺の核心。こうした町並みをどう保存していくかは、住民として考えるべき1つの大事なポイント。西側は、これからのまちづくりということで、経済、商業、人が集い、コンパクトシティ化される。人口減少社会でも、神辺がにぎわうような地域になることが望みである。
- ・ハードを作ることは行政の役割のひとつなのだろうが、我々の役割はまさにソフトを作ること、心を伝えることである。皆様方とともに、神辺のこれからの議論していきたい。

### ○市長

- ・神辺は人口が増えており、未来展望をする時に、にぎわい再生という言葉はちょっと失礼だったと反省している。神辺駅周辺に着目しながら、もう一度まちづくりを見つめ直していこうというアプローチは、続けてもいいと感じた。
- ・議論の視点は神辺駅周辺エリアに限定する必要はない。本日お聞きした意見には自然に触れたい、里山整備への思いなどもあった。昨年スタートした協議会や未来会議の議論をどんどん広げていっていただきたい。
- ・地域の拠点づくりの先頭を切って、いい取組を打ち出しただけのように、我々も一緒に汗をかきながら進めていく。